

平成 21 年 11 月 5 日

お得意様各位

丸松物産株式会社
担当 木村善幸
TEL023-673-5511
FAX023-677-1020

「2009 年産：中国産乾燥メンマ原料概況」

2009 年産中国産乾燥メンマの産地、現在の状況につき以下ご報告申し上げます。

(記)

(1) 数量について

原料となる麻竹はまだ 2 ヶ月弱ほど収穫が期待されておりますが、シーズン後半に入ることより、日々収量が減少してきております。現時点では今期の乾燥メンマ原料の予想数量である 2,500 トのうち約 50%ほどが加工業者に売却済みと推測されます。

また、今期の数量に関する産地のブローカー或いは加工業者の見方を総合すると、最悪 2,500 トを下回る可能性もあるとの見方が出始めておりますが、正確なる統計なども無くどの程度の信頼性がある情報かは判断しにくい面はありますが、弊社の中国工場も同様の見方をしております。

(2) 価格について

最近取引されている乾燥メンマ原料価格は昨年同時期比では 87%アップと未だ異常な高値で推移しており、今期の今までの平均原料価格と昨年一年間の平均原料価格とを比較すると、約 65%高になっております。以上より、今後の収穫量の漸減傾向を念頭に入れると今年の原料価格は昨年比大幅なる高値で終了する可能性が非常に強くなっております。

(3) その他（本年度の特徴）

従来は乾燥メンマ原料を生産する農家及び中間業者（ブローカー）はある程度の在庫を持っておりましたが、今年は生産当初より原料取引価格が高値でスタートしたこともあり、農家・中間業者は実需家である加工業者に原料をすぐに売却し、流通在庫がほとんど無い状態であります。一方、加工業者側においては、今年は原料が少なそうだとの見測から、高値であっても玉の確保のために早めに買い付けを進め、結果として流通在庫の減少を促す形となりました。

(4) まとめ

メンマ用原料は「異常な数量減少による価格の暴騰」という事態に面しております。

勿論、原料価格のアップ率がそのままメンマ製品のアップ率になる訳ではありませんが、メンマ製品のコストアップは避けれない状況です。

また、前年度も心配されたことですが、異常なるメンマ原料の絶対数量の減により
来年の端境期には「原料が無くなる事態」が起こるのではないかと心配されます。

現状報告は以上であります。当社としては弊社中国工場とともにメンマ原料の確保に最大の努力を傾注しており、永年ご愛顧を頂いているお取引先様にご迷惑をお掛けしないように全力を挙げております。

今後とも情報収集をしっかりと実行し、メンマのリーディングカンパニーとして徒に市場に不安を与えないように最大の努力を継続致す所存です。また、適宜産地状況についてはご報告申し上げます。

以上